

ellipse

[エリプス]

TOPICS

「夢のつばさ♥プロジェクト」へのご支援に 感謝を込めて：活動概要のご報告

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。

REPORT

事業報告(共催講演会)
「ワークライフミックス
～子連れスタイルでの発信」(講師 光畑 由佳氏)

事業報告(共催講演会)
「脳機能から見た認知症
～その予防と回復のために」(講師 高槻 絹子氏)

INFORMATION

お茶の水女子大学イベント情報
事務局よりお知らせ



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」へのご支援に 感謝を込めて：活動概要のご報告

お茶の水女子大学名誉教授 室伏 きみ子



「夢のつばさ♥プロジェクト」が始動して、今年の春に4年目を迎えました。この間、多くの企業や個人の皆様のご助力を頂いて、東日本大震災の被災孤児・遺児を支援する活動を続けていくことが出来ました。開始に当たっては、子ども達の情報を得るのが極めて困難な中で、同窓会の東北3県の皆さまが、教育委員会などを通じた情報収集や本活動の広報にご協力下さいました。本稿では、夢のつばさ♥プロジェクトの活動概要をご報告し、この活動を支え、見守って下さる皆様への感謝の気持ちをお伝えさせて頂きたく存じます。

1. 活動の立ち上げ

2011年3月11日に宮城県牡鹿半島東南東沖で発生したマグニチュード9.0の未曾有の大地震と、東北地方太平洋岸を襲った巨大津波は、2万人を超える死者・行方不明者を出し、多くの家屋財産を破壊流失させるという壊滅的な被害をもたらしました(2014年3月11日現在の警察庁のまとめによると、死者15,884名、行方不明者2,633名。加えて、避難生活で体調を崩したなどの理由で亡くなった「震災関連死」と認定された人数は岩手、宮城、福島、茨城、埼玉の5県で1,400名余にのぼると報道されています)。さらに、津波による東京電力福島第一原子力発電所の電源喪失と浸水によるメルトダウン・水素爆発は、放射能による環境汚染というこれまで我々が経験したことのない災禍をもたらしました。その中で、多くの子ども達が父母や家族を失いました。私達は、それらの子どもたちを支援したいと願って、4月から様々な方々のご協力を得て「夢のつばさ♥プロジェクト」を立ち上げました。並行して、同窓会

の皆さまのご助力により、被災各県や幾つかの市町村を訪問して、各地の教育委員会や児童相談所などとの間で連携関係を構築することができました。その結果、孤児・遺児の状況把握が可能となり、また、教育委員会や児童相談所の方々に子ども達との連絡業務を引き受けて頂けることになりました。

2. 夢のつばさ♥プロジェクトの概要

本プロジェクトは、孤児・遺児となった子どもたちを成人するまで見守り、将来に向けて自らの夢を実現する力を育てていくとするもので、学校の長期休み(夏と冬)に宿泊型のキャンプ(原則3泊4日)と、日帰りの交流会(春と秋)を行い、活動を共にする子どもたちが、心を開ける仲間を作り、さまざまな体験をして学び合い、将来に向けてこの活動を自ら担っていくことができるように支援するものです。ボランティアの大学生らが子どもに直接関わって活動し、それを大人(個人や団体)が物心両面から支援していくという仕組みで続けていくことを特徴としています。

活動母体はお茶の水学術事業会を中心とした4つのNPO法人(遺伝カウンセリング・ジャパン、ウェアラブル環境情報ネット推進機構、全国てらこやネットワーク)で、実働部隊として、お茶の水女子大学、明治学院大学、東京大学、早稲田大学、東京文化大学、國學院大学、東京学芸大学、一橋大学、明治大学、埼玉大学、津田塾大学等の学生(約50名が登録済み)と約20名の社会人がボランティアで参加して下さっています。財政的には、様々な企業・団体や個人の方々から温かいご支援を頂くことができ、特別協賛として(株)ブリヂストンがキャンプ活動の拠点となる宿泊施設(同社保養所)などの提供を、(株)



◆ 植樹祭(2011年夏のキャンプにて)
「あすなる」の苗木を植え、これからともに成長しようと誓いました。

富山房インターナショナルがボランティア学生を支援する役割などを担って下さっています。お茶の水の複数の同窓会（桜蔭会、作楽会、鏡影会）からも、継続してご支援を頂いています。

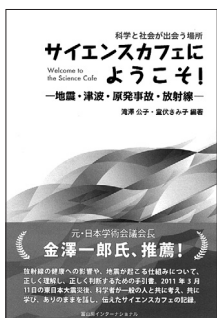
3. これまでの活動実績

以下に、簡単に活動実績をお示しします。活動組織や様々な活動の詳細は、HPをご覧くださいたく存じます。
(<http://www.npo-ochanomizu.org/tsubasa/>)

2011年 8月	夏のキャンプ(ブリヂストン奥多摩園にて)
2011年 12月	クリスマスキャンプ(ブリヂストン奥多摩園にて)
2012年 5月	春のキャンプ(花巻、遠野にて)
2012年 5月	保護者との懇談会(仙台にて)
2012年 8月	夏のキャンプ(ブリヂストン軽井沢山荘にて)
2012年 10月	保護者との懇談会(仙台にて)
2012年 12月	クリスマスキャンプ(ブリヂストン軽井沢山荘にて)
2013年 3月	春の交流会(仙台にて)
2013年 5月	保護者との懇談会(仙台にて)
2013年 8月	夏のキャンプ(ブリヂストン奥多摩園にて)
2013年 10月	保護者との懇談会(仙台にて)
2013年 12月	クリスマスキャンプ(ブリヂストン奥多摩園にて)
2014年 3月	春の交流会
2014年 8月	夏のキャンプ(ブリヂストン奥多摩園にて)

4. その他の活動

本プロジェクト関係者は、大震災直後から、震災や原発事故の復旧作業に当たる方々への激励の活動や、日本赤十字社やその他の団体への寄付を行うことで、被災した方々への支援を開始しました。また、社会に広がる放射線への不安や風評被害を低減するために、大震災と原発事故の実態を科学的に理解し、適切に行動するための一助として、サイエンスカフェ(日本学術会議、富山房インターナショナル共催)における東日本大



震災特集を企画・開催し、2012年3月11日に「サイエンスカフェようこそ!—地震・津波・原発事故・放射線」を刊行しました。並行して、NPO 法人遺伝カウンセリング・ジャパン(理事長:金澤一郎)では、遺伝カウンセリングの専門家による放射線被曝に対する正確な知識の普及を目指す冊子の発行を提案し、4月半ばには日本遺伝カウンセリング学会などとともに、「放射線被曝への不安を軽減するために」を刊行して東北各県の医療従事者や教育関係者、一般の方々へ配布や、HPへの掲載を行いました。



◆自由研究(夏キャンプ)
キャンプでは子どもたちに自ら学ぶ習慣をつけて欲しいとの思いから、勉強の時間も設けています。



◆音楽会(冬キャンプ)



◆がん研有明病院訪問(夏キャンプ)
キャリア教育の一環としてパン工場や病院を見学しました。

5. これからの活動

今後、大学等へ進学する子ども達のための進学相談や奨学基金の設立なども計画しており、また、子ども達を育てて下さっている保護者の方々とお会いしてお話を伺う活動も、続けていきます。子ども達が自立した大人となって、自ら道を切り開いていく力を身に付けることが出来るよう、キャンプに参加している子ども達が成人するまでの間、見守って行きたいと考えております。一番小さな子どもはまだ7歳です、これから少なくとも13年は頑張ります。

これまでのご支援に感謝申し上げますとともに、今後ともお励ましいただけますよう、心からお願い申し上げます。

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号 227) 普通 1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子(この口座は、夢のつばさ専用口座となっております)でご協力いただける範囲でご寄付賜りますれば幸いです。ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせくださいませ。領収書をお送りいたします(恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください)。

連絡先:事務担当 滝澤公子 TEL&FAX:03-5978-5362 Email:tsubasa@npo-ochanomizu.org

事業報告 (共催講演会)

桜蔭会埼玉支部

「ワークライフミックス～子連れスタイルでの発信」

講師 光畑 由佳氏 (有限会社モーハウス代表)



【日時】2014年4月19日(土) 13:45～15:45

【会場】さいたま市「岩槻駅東口コミュニティセンター」4階多目的ホールA

【主催】桜蔭会埼玉支部 【共催】お茶の水学術事業会

【参加費】無料 【参加人数】51名

光畑由佳氏はお茶の水女子大被服科卒業後に一般企業へ就職。結婚して茨城県つくば市に移り30代で会社を設立。現在もこの地を拠点に斬新な企画活動を行い、内閣府の男女共同参画推進会議のメンバー・コメンテーターとしても活躍中。

講演後はAPEC女性会議(北京)に参加とのことであった。

仕事と子育ての場として、ワークライフミックスの考え方についてお聞きした。

☆子どもがいても騒々しくない。

☆子どもがいても仕事に集中できる。

母子と一緒にいられる安心感は、勤務の柔軟なる対応と周囲のきめ細かい目配りによる一体感からであろう。モーハウスでは、仕事と子育てがミックスした「働ける環境」が実現している。育児も仕事も同時に願う女性が、自由に選択できる道として、ワークライフミックスの良さが広がってほしいと願う。

授乳服は誰にでも優しいユニバーサルウェアへ

当日の光畑氏は茶色のドレープがきいたシックなブラウスとパンツルック。「これは授乳服です。動きが自由で着やすく重宝しています。授乳用ブラは乳がんの患者さんにも好評です。」の説明に皆モーハウスのサンプルを手にとってその感触や機能性など確かめあった。「一人の人に優しい衣服は他の人にも優しい」というユニバーサルデザインの考えが反映されている。

授乳服は授乳だけでなく、多くの可能性をもったユニバーサルウェアであると気づき、会場からもたくさんの反響があった。

5月末に青山のお店へいき、子どもを抱きながら静かに授乳

必要は発明の母。会社モーハウスの設立へ

1997年「生後一ヶ月の子どもを連れて外出中、電車内でやむなく授乳。その時の体験から、「命の営みである授乳が外でも自由にできる服を」との思いが契機となり、試行錯誤のすえ「光畑流オシャレで動きやすい授乳服」の誕生となった。最初「母乳中は我慢して家に」との社会通念により関心が低かった。しかしネット通販を通して徐々に需要がのびて、有限会社モーハウス(母の家という意味)を設立。現在は女性社員45人のユニークな会社に成長している。

授乳服は、女性を家から外へと自由に解放する救世主!

モーハウスは、地域の人たちと一緒に、遊び心を取り入れた交流の場を企画し、東京で授乳ショーやパレードで「いつでもどこでも快適母乳生活」をPRし、授乳服の存在が目された。

そして授乳服は、乳幼児と母親とのスキンシップをより実感させるだけでなく、自由に子連れ外出ができるという解放感・幸福感を母親にもたらしたのである。

女性がつくるワークスタイルとは?

講演の途中、NHKの番組「クローズアップ現代」が流れた。それはモーハウス社内で女性たちが子連れで授乳しながら自由に電話の応対やパソコンや会議をしている映像であった。会場から驚きの声も寄せられたが、これがワークライフミックスのこと。光畑氏はモーハウスの職場について以下の3点を指摘。

☆子どもに特別の配慮や施設を用意しない。



授乳服を手にする参加者



青山ショップにて授乳服を試着

している社員から様子も聞くことができた。また沢山の授乳服が並ぶ中、一品を購入。その快適性を堪能する一人である。

会場には1歳から90歳まで幅広い年代層が集まり、子連れの若いご夫婦もみえ、皆興味をもって聞いていた。アンケートにもたくさんの感想が寄せられ、それぞれが光畑氏の考えと実践に大いに啓発された講演会であった。

最後に講演会の共催を受けてくださった貴事業会に心より感謝を申し上げます。

(桜蔭会埼玉支部 青木 和子)

事業報告 (共催講演会)

桜蔭会山梨支部

「脳機能から見た認知症～その予防と回復のために」

講師 高槻 絹子氏 (エイジングライフ研究所副所長、
昭45 教育学科卒)



【開催日時】2014年6月28日(土) 13:30～15:30

【会場】山梨県立男女共同参画センター(2階大研修室)

【主催】桜蔭会山梨支部 【共催】お茶の水学術事業会

【参加費】無料 【参加人数】162名

桜蔭会山梨支部では、現在、非常に関心の高い「認知症」をとりあげ、「地域社会に、認知症の発見・予防・治療に対する意識・知識が広まること」を目的として講演会を企画しました。

講師の高槻氏は「《脳の健康》を一人でも多くの人に伝えたい」を持論としている方であり、これまで経験してこられた数万例を超える実践に基づいて、認知症を「生活習慣病」と位置づけ、「認知症の始まり」のタイミングを捉えて生活改善指導を行うことの重要さなどを2時間にわたり熱心に話してくださいました。

「脳を使う」とは

脳は「使い方不足」によって老化が加速します。この場合の「使う」というのは、「よく学ぶ(仕事、勉強、読書、日記を書く、難しいことを考える)左脳」と「よく遊ぶ(五感を使って趣味や遊びを楽しむ)右脳」と「よく身体を動かす運動脳」を三位一体化することを指します。健康な脳とは、たとえるならば三頭立ての馬車が勢いよく走っている状態ですが、そのために不可欠な御者役が「前頭葉」です。

「前頭葉」の機能

前頭葉の機能は「認知機能」「機能発揮度」「評価の機能」の三つですが、これらは生得のものではなく、さまざまな成功や失敗の体験の積み重ねを通して自分らしい行動規範を作り上げ、十人十色の生き方を選択していく脳です。前頭葉は脳の「司令塔」として、どの道を選び、何に興味を覚え、何に感動するかなど、その人がどのように生きていくかを決めます。

「積極的に人と交わる」

ライフイベント、生活の大きな変化は誰にも起きることですが、それによって老化が加速するわけではありません。その変化に適応できず、意欲を失った前頭葉が指令を出すのをやめて三頭立て馬車が止まってしまうために老化が加速し、認知症の第一歩が始まると考えられます。

加齢とともに「喪失体験」が増えてくるのは辛いことですが、

その現実に適応できないまましていると、その先には認知症が待っています。ですから、喪失体験のただ中にある人こそ孤独に過ごしてはいけません。また、そういう人を孤立させてはなりません。

そのためにも日頃から、趣味のサークル活動に参加するなど、「よく遊ぶ」人脈を豊富に作り、積極的に社会(人との交流)に出ていく努力を惜しんではなりません。

《認知症予防五箇条》

- ・熱中し夢中になれる趣味や遊び
- ・趣味や遊びを通じた友達との交わり
- ・生き甲斐や喜びや感動の発見
- ・精神的な張りや緊張感のある毎日
- ・定期的な運動：1日1時間の散歩



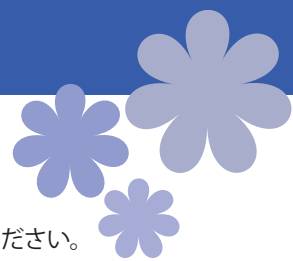
老化予防教室

高齢化が加速しているだけでなく、先進各国に比べて寝たきり高齢者が多く、さらに認知症高齢者がハイピッチで増加している日本では、高齢者が「健康な脳」で元気な老後を過ごすことはその人の幸せであると同時に国家的な希求でもあります。

高齢者の認知症予防に特化した「脳の健康」増進活動を13年前から取入れている長野県の小布施町の場合、町内全地区の「脳のリフレッシュ教室」で、歌・踊り・書画・物作り等の他、集団による右脳活性化活動(教室交流会でのパフォーマンス・青少年や幼児との交流)を高年齢者が自主的積極的に楽しんでます。その参加者達の脳機能を調べると、「1年ごとに齢を取っていくにもかかわらず、参加年数の長い人の方が成績良好である」ことや「自主活動の年数が長いほど改善割合も高い」といった成績が確認されています。やがて豊かな高齢者文化が花開くだろうことが予感される結果です。

こうしたことが明らかに検証された今、「認知症の人にはこのような態度で…」とか、「寝たきりにならないために…」といった事後型の対応策ではなく、「脳の機能」を若返らせることを目的に掲げた早期の、ダイナミックな老化予防策として、「脳のリフレッシュ教室」を全国に普及充実させていくことが喫緊の課題ではないかと思えます。

(桜蔭会山梨支部長 河井 扶桑子)



お茶の水女子大学 イベント情報

2014年10月以降に開催される各種イベントのお知らせです。詳細は、各主催者にお問い合わせください。

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2014年 10月18(土)～ 19日(日)	GREAT-Ocha (Global Research Exchange at Ochanomizu University)	無料	【会場】お茶の水女子大学(理学部3号館207号室) 【主催】グローバル人材育成推進センター 【詳細】海外女子大学との連携のもと、学部生3年生の卒業研究の英語による発表を実施。グローバルな形での学問的発信の能力を育成することを目的とするシンポジウム。 (URL: http://www.ocha.ac.jp/intl/ocgl/global/great_ocha.html) 【問合せ】グローバル人材育成推進センター(石田 Tel: 03-5978-2734) または Email: great-ocha@cc.ocha.ac.jp 【申込み】発表申込は8月30日まで(聴衆歓迎・無料)
2014年 10月28日(火) 16:45～19:00 (開場16:15)	A-WiL Symposium 「ダイバーシティ・リーダーシップ ～4大陸の駐日女性大使を迎えて～」 “Women’s Leadership in Different Cultural Contexts: Learning from Women Ambassadors to Japan”	無料	【会場】お茶の水女子大学本館 講堂(徽音堂) 【主催】お茶の水女子大学 【概要】駐日女性大使6名によるパネルディスカッションやミニレクチャーを通して、女性のリーダーシップを多文化的に考えていきます。 【問合せ】お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター info-leader@cc.ocha.ac.jp 【申込み】リーダーシップ養成教育研究センター HP (http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/) を参照
2014年 11月25日(火) 18:30～20:00 (開場18:00)	2014 FFF 健康食品フォーラム 「食品の隠れた魅カペプチドの 血圧低下作用」	2,500円	【会場】お茶の水女子大学 大学本館103室 【主催】NPO 日本健康食品評価認証機構 【詳細】 http://www.jact-fff.or.jp/forum.html 【問合せ】NPO 日本健康食品評価認証機構 Tel: 03-3565-6649 【申込み】NPO 日本健康食品評価認証機構 Tel: 03-3565-6649
2014年10月、11月、 12月、2015年1月 次回は 10月29日18:30～ (スピーカー:杉浦未樹氏)	女性のグローバルな活躍のための ワークショップ	無料	【会場】お茶の水女子大学、本館3階306室(予定) 【主催】グローバル人材育成推進センター 【詳細】 企業や研究機関、国際機関等で国際的に活躍する女性を講師とするワークショップを開催、本学の学生に、女性としてグローバルな活躍を達成するために必要な情報とノウハウ、知恵を提供し、役立ち意識の形成を促進することを目的とする。 (詳細はHPに掲載予定) 過去のワークショップについては、 http://www.ocha.ac.jp/intl/ocgl/global/workshop.html 【問合せ】グローバル人材育成推進センター(石田 Tel: 03-5978-2734、高柳 Tel: 03-5978-2736) または Email: wgws@cc.ocha.ac.jp 【申込み】不要
2015年 1月 10日(土) 17日(土) 24日(土) 31日(土) 各13:30～16:40	お茶大女性ビジネスリーダー育成塾: 徽音塾 【冬学期】1月:財務会計 【講師】中溝恵津子氏(中溝公認会計士事務所 公認会計士)	1講座 27,000円 (卒業・修了生) 30,000円 (一般)	【会場】お茶の水女子大学本館127室 【主催】お茶の水女子大学 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/ 簿記・会計の原理を理解し、マネジャーの立場から財務諸表の評価、企業の資金の流れおよび経営管理、財務管理について理解することを目的とする講座です。 【問合せ】 kiin-le@cc.ocha.ac.jp 【申込み】上記徽音塾のURLをご参照ください。
2015年 2月(予定)	Woman’s Global Leadership Summit (女性グローバルリーダーシップに関する 国際会議)	無料	【会場】お茶の水女子大学(共通講義棟2号館102号室(予定)) 【主催】グローバル人材育成推進センター 【詳細】グローバルリーダーとして活躍する女性による基調講演を含む国際会議。女性が日本やグローバル社会でリーダーとなる上で参考になる情報を提供する。(詳細はHPに掲載予定) 【問合せ】グローバル人材育成推進センター(石田 Tel: 03-5978-2734) または、Email: wglsl@cc.ocha.ac.jp 【申込み】期日等は未定
2015年 2月 7日(土) 14日(土) 21日(土) 28日(土) 各13:30～16:40	お茶大女性ビジネスリーダー育成塾: 徽音塾 【冬学期】2月:企業法務・労務管理 【講師】汐崎浩正氏(西村あさひ法律事務所 弁護士(パートナー))	1講座 27,000円 (卒業・修了生) 30,000円 (一般)	【会場】お茶の水女子大学本館127室 【主催】お茶の水女子大学 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/ 企業に関連する法制度とその運用、コンプライアンス実現の仕組み、労働法規と各種制度について知識を習得することを目的とする講座です。 【問合せ】 kiin-le@cc.ocha.ac.jp 【申込み】上記徽音塾のURLをご参照ください。

＊附属各校園公開研究会

詳細は、各学校のホームページを参照してください。

附属小学校	第 77 回 教育実際指導研究会 【開催日】2015年2月19日(木)、20日(金) 【詳細】 http://www.fs.ocha.ac.jp/
附属中学校	公開研究会 【開催日】2014年10月31日(金) 【詳細】 http://www.ft.ocha.ac.jp/
附属高等学校	第 19 回 公開教育研究会 【開催日】2014年11月15日(土) 【詳細】 http://www.fk.ocha.ac.jp/study/research-meeting.html

共催講演会のご案内〈お茶の水地理学会〉

「サプリメントとの上手なつきあい方」

講師：藤原 葉子氏

お茶の水女子大学大学院・人間文化創成科学研究科(教授)
(生活科学部食物栄養学科)

日時 2014年12月13日(土) 14:00～16:00

会場 お茶の水女子大学 本館 306号室

参加費 無料

【主催】お茶の水地理学会

【共催】お茶の水学術事業会

【申し込み方法】葉書かFAXかEmailで下記まで

＊住所・氏名・電話番号を記入(桜蔭会会員の方は卒業年と学科も記入してください。)

〒112-8790 文京区大塚 2-1-1

お茶の水女子大学 文教育学部 地理学教室

FAX: 03-5978-5185 Email: chiriog@yahoo.co.jp

【締め切り】10月31日(消印有効)

定員を超えた場合は抽選、葉書で可否を連絡いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

第65回 徽音祭

お茶の水女子大学
第65回 徽音祭
2014年11月8日 開催
秋は短し弾けよ乙女 熱きお茶の冷めぬ間に
—The 65th Anniversary—

様々なステージ企画に加え、
緑日や指圧といった企画まで！
幅広い年代の方楽しんでいただけること間違いなし！

さらに！
65周年を記念してミラーが発売！
実行委員のトレードマークの法被柄
でとっても可愛い価格は300円！
是非お手にとってみてくださいませ。
皆様のお越しを一同心よりお待ちしております。

公式サイト：<http://kiinsai.org/>

twitter：[@kiin2014](https://twitter.com/kiin2014)

公式 Facebook：<https://ja-jp.facebook.com/kiinsai>

タヌキ?!

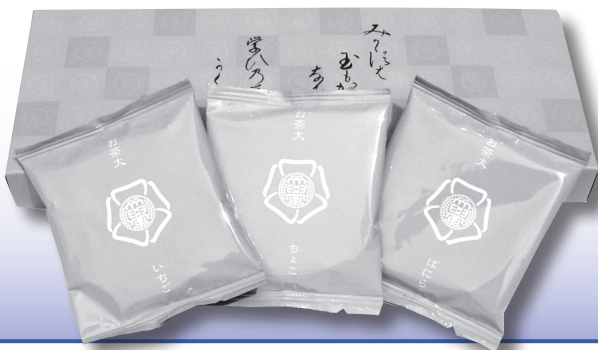
ネコ、カメ、コイ、カラスなど、色々な動物が生息するお茶の水女子大学。なかでも正門や図書館前に陣取り、人通りを気にする様子もなく、のんびりとくつろぐネコの姿は、すっかりおなじみになりました。

でも、9月上旬のとある日、午前10時ごろ撮影されたこの写真に写っているのはネコではありません。丸いお尻にふっくらとした尾といえば、「タヌキ」でしょう。学内に生息しているという噂は本当でした。この日は夏休み中で構内が静かだったため、日中から散歩をしていたようです。

都心で昼間からタヌキに出会うというのもあまり聞かない話ですが、木々や草の茂みがあるだけでなく、どこかとおっとりとしたお茶大の雰囲気、動物にとっても快適なのかもしれません。



お茶大ゴルフ 好評発売中!!



ご注文・お問合せは お茶の水学術事業会まで!

TEL&FAX 03-5976-1478

E-mail: info@npo-ochanomizu.org

● 本体価格 600円 *消費税・送料が加算されます。

*会員および大学・附属学校園の卒業生、教職員など、関係者の方には割引があります。

● 6袋(計12枚)入

● ばにら・ちょこ・いちご味

事務局より

文京区 NPO 活動 PR フェア「文の京つながる学び市」に参加しました

【期日】2014年9月7日(日) 12:30~16:30

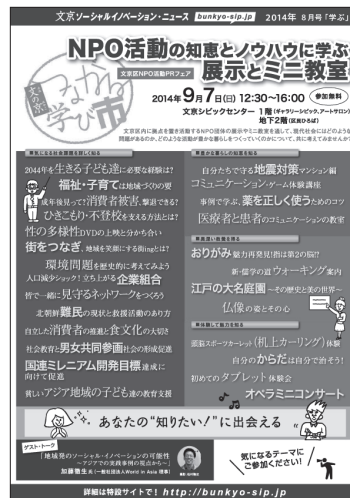
【会場】文京シビックセンター(1階ギャラリー、アートサロン、地下2階区民ひろば)

文京区には300を超えるNPO団体(特定非営利活動法人)があるそうです。NPO活動はいわば現代社会が抱える問題の鏡とも言えるのでしょう。区内に拠点を持つNPO活動を紹介します。現代社会にはどのような問題があるのか、またどのような活動が豊かな暮らしを創っていくのか、共に考えてみませんかということで、「文京区NPO活動PRフェア」が開催されました。

お茶の水学術事業会も文京区にあるNPOとして、地域の皆様にも活動を知っていただく良い機会と考えて参加し、活動紹介のパネル展示と会報「ellipse」、ブックレットの紹介をしました。

参加団体は26団体。消費者生活、子育て・教育、環境に関することや、おりがみ、仏像作製、ミニオペラなどの文化活動、あるいは健康を考えるなど多彩で、展示だけでなく、ミニ教室、ミニコンサートも開催され、NPO同士の交流もあちらこちらで見受けられました。

雨天にも関わらず来場者数は314名となかなかの賑わいで、文京区が目指す、地域のいろいろな主体が関わって地域の課題を解決しようという「新たな公共プロジェクト」を垣間見たように思います。NPO活動の幅の広さと可能性を改めて感じました。



「お茶の水女子大学 E-book サービス」のご案内

<http://www.lib.ocha.ac.jp/e-book/>

お茶の水女子大学の研究・教育成果としての著作を無料でPDF閲覧またはダウンロードできます。

New! 2014年前期は3冊がBook Listに追加されました。

◆『体重管理のためのカード教材「ベストアドバイザー FOR ダイエット」』(2014.1)
赤松利恵、新保みさ、玉浦有紀作
管理栄養士が作成したカードゲーム型の教材。食べてはいけないのに、つい食べてしまう、食べ過ぎてしまう場面で、どう乗り越えていくかを遊びながら学べます。体重管理だけでなく、そのサポーターとなる指導者の学習にも使えます。

◆『お茶大Ploneの使い方』1巻・2巻(2014.3)

石田千晃、青砥早希、五島杏奈作/横山美鶴 イラスト
お茶の水女子大学で学修支援システムとして活用しているPloneの利用マニュアルです。

◆『古今和歌六帖全注釈』第二帖(2014.6) ※

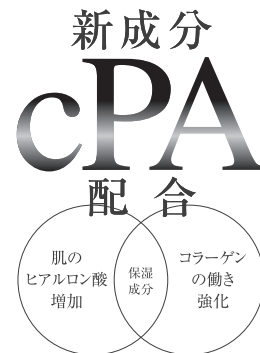
古今和歌六帖輪読会(代表:平野由紀子)著
平安朝文学に引用が多いにもかかわらず注釈のなかった歌集『古今和歌六帖』。2012年3月に公刊された第一帖に続き、第二帖(829~1451)の623首の注釈ができました。

※オンデマンド出版による製本版(有料)があります。ご希望の場合には、「オンデマンド出版」のボタンをクリックし、お茶の水学術事業会HP内「E-bookで注文フォーム」(<http://www.npo-ochanomizu.org/E-book/>)よりご注文ください(お申込みから納品まで1ヶ月程度かかります)。

ライフサイエンスから生まれたスキンケア

細胞生物学の最先端研究の中で室伏教授が発見した新成分cPA(シービーイー)は、あなたの体内のヒアルロン酸を増やして、本来あるべき良好な状態に導きます。雅GraceはcPAを配合して世界初のスキンケアです。

室伏きみ子(お茶の水女子大 教授) 監修



売り上げの一部は、大学へ寄附されます

雅Grace 定価(本体価格)

- グレイス化粧水 (150ml) 6,000円
- グレイス乳液 (100ml) 7,000円
- グレイス美容液 (30ml) 9,000円

※写真は、グレイス化粧水 150mLです。

美しく見える肌ではなく、ほんとうに美しい肌へ。
雅Grace —グレイス—、誕生。

販売元: SANSHO株式会社 TEL 03-5203-0716 WEB <http://c-pa.jp/>

なお、お茶の水学術事業会で、特別価格でお取り扱いをしています。詳しくは、本会事務局まで お問い合わせください。

E-mail: info@npo-ochanomizu.org TEL & FAX: 03-5976-1478



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分

都バス
大塚2丁目バス停すぐ

編集後記

今回の「ellipse」では夢のつばさ♥プロジェクトと共催講演会のご紹介をしましたが、お茶の水学術事業会には他にも学会事務代行、冊子やHP作成など様々な活動をしています。現在、事務局スタッフは11名。そしてリライト、DTPなど編集専門のスタッフが数名います。年齢やバックグラウンドが違えば得意分野や考え方もさまざま。そこが事業会の良いところの1つだと思っています。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は2015年2月に2500部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1回につき20,000円。詳しくは下記までお問い合わせください。

事務局

OPEN 月~金 10:00~16:00
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org
<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。